

---

# **笑顔/REBORN**

深海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

笑顔／REBORN

### 【Zマーク】

N8968A

### 【作者名】

深海

### 【あらすじ】

山本×獄寺。B級なので御注意を。

「獄寺ー！」

「あん？」

学校の帰り道、振り返ると笑顔の山本。俺は見なかつたフリをして歩き続けた。だけど山本は無視を無視して俺の肩に腕を回して捕まえる。  
「なんだよ、ちょっとくらい止まつてくれたっていいだろ」「んだよつ離せ！ こんの野球バカ！ 気安く触んじゃねーよ！」山本の手を振り払おうとしたら、思ったよりも力が入つてしまつてバチンといい音を立てて叩いてしまつた。

「あ……」

俺が悪くて謝らなきやいけないのに、素直じやない俺は何も言えない。気まずい空氣。でも山本はそんなことを気にしていないのか、俺が叩いた手をヒラヒラと振つている。  
「いつてー。獄寺つて案外力強いのな」

「ふ、ふんっ」

調子が狂う山本の笑顔。

俺は山本を置いて歩きだした。すぐに山本が後を追つてくれる。「待てよ。一緒に帰ろうぜ」

何も言わない俺の頭をポンポンと叩く山本。睨んでやひつと振り返つたら、笑顔。

山本は俺が叩いて赤くなつた手を見せた。

「こんなのが痛くねーぞ。だからんな顔すんなつて！」

へラへラと笑いながら、今度は俺の髪をクシヤクシヤにする。

俺がどんな顔してゐつてんだよ。確かに手を叩いたのは悪いと思つけど……。

「ほら、帰るうぜ」

俺に差し出された山本の手。

「き、今日だけだからな！」

俺はその手を握り返した。多分、俺の顔は真っ赤なんだろ？。

「ん、今日だけな。俺ん家寄つてくか？ 飯食つてけよ

「誰がんなマズイもん……食つてく……」

山本のペースに飲まれるなんて嫌なのに、この笑顔。

俺が何を言おうと、何をしようと変わらない山本の笑顔。

調子が狂う。ああ、調子が狂う。

fin

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8968a/>

---

笑顔/REBORN

2010年10月8日11時24分発行